

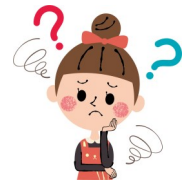
# 相談室ニュースレター 第7号

2024年 5月発行

<https://soudan.jccj.or.jp/>

## 「チャペハラ」してませんか？

総務局相談室相談員 小岩喜代美



今年の1月に、日本福音同盟女性委員会主催「かたりば」のセミナーで、中高生スタッフとして46年間奉仕しておられる浜岡典子さんから、「チャペハラ」(チャペルハラスメント)という言葉を知りました。それは、教会の中高生たちが、勝手に作った言葉だそうです。どういうことかという、礼拝にやっどこき来てるのに、帰ろうとしたら、おば様方が近寄ってきて、「最近どうしてんの?」「受験生やね」「献身するんやろ」「今日の交わり会でるよね、交わり大事!」・・・と声をかけられる。「それがいや、しんどい」と、そのような何気ない「圧」に対して「チャペハラや」と言っているそうです。みなさんの教会はいかがでしょう? 私も思い当たることがあって、反省しました。

「どんなことがハラスメントなのか」という質問をされることがあります。言葉や行為を受けた側がいやな思いをすることがハラスメントとするならば、項目を挙げて注意喚起するだけでは不十分です。私たちの側では、悪気もなく、相手を心配して、よかれと思うことでも、相手が嫌な思いをしているかもしれません。たとえば、既婚女性に対して「子どもはまだなの?」と無神経に聞くことは、ハラスメントの部類です。ある人にとっては、触れられたくない深刻な問題かもしれません。しかしながら、心から心配している事が伝わ

るなら、受け止め方は違うでしょう。また、「祈りますよ」という言葉がけにしても、好意的に受け取る人がほとんどですが、自分のことを見下しているか否定的に捉える人もおられるようです。受け取り方は、個人の性格や考え方、双方の関係性によっても異なるものです。

「教会は神の家族だから」と親密になるのは感謝なことですが、親しき仲にも礼儀をわきまえ、相手を思いやる言動を心がけたいものです。また、無自覚、無意識にハラスメント的な言動を繰り返す人がいた場合、我慢しないで「嫌だ」と言える環境づくりや、その場面に遭遇した人や相談を受けた人の適切な対応も重要です。傷ついている人に、「あなたにも非がある」「あの人が～なんて信じられない」「我慢しなさい」「信仰が足りない」と、追い打ちをかけるようなことは避けたいものです。相談室の相談員にお声がけくだされば、ふさわしい対応策を一緒に考えさせていただきます。

総務局相談室ハラスメント・牧会相談窓口HP

<https://soudan.jccj.or.jp/>

※過去のニュースレターもダウンロードできます。



ニュースレターに関するお問い合わせは、  
仙台国見教会・小泉までお願いします。



# 異端問題に関する、新来会者への対応

総務局異端カルト相談窓口 小泉創

教会に新しく集う方が与えられるのはうれしいことです。しかし、その一方で、クリスチャンとして来られるようになった人が、実は教会に入り込もうとしている異端カルト信者であるというケースが近年、問題になっています。具体例としては、礼拝に来られた人が「旧・統一協会(現・世界平和統一家庭連合)」や、韓国異端「グッドニュース宣教会」の信者であったということも聞きます。また「キリスト教福音宣教会(摂理)」や、「新天地イエス教証拠幕屋聖殿(新天地)」も、クリスチャンと自称して電話やSNSで接触してきます。ある地方の教会では、礼拝支援で来られた超教派の説教者が、実は極端な信仰で教会を混乱させている人だった、というケースもありました。地方の高齢化教会、兼牧教会では交わりを求めていますし、礼拝のための奉仕者も足りませんから、クリスチャンと聞いて飛びついてしまうのも無理はありません。

異端カルト信者は、既存の教会に入り込んで、異端的な、あるいは極端な教えを伝えようとしています。彼らは純粋で熱心な動機から「悪気なく」そうします。教会員の信頼を得、ひそかに自分たちの学びに呼んで教えて引き抜いたり、教会に混乱や分裂を招いたり、乗っ取ることもします。

異端カルトへの対策は、ここ数年間私たちが取り組んできた感染症予防の考え方に通じる部分があります。感染した人と距離を取ること、感染があればその症状を見極めること、普段から免疫力を高めたり、ワクチンを打ったり、必要な治療をしたりします。愛する教会を守るため、私たちはどのように対応したら良いでしょうか。

## 来会者を知ること

新来会者は心から歓迎しますが、その人の様子、言動からどのような信仰をもった人なのか気を配る必要

があります。「クリスチャン」といっても、どのような信仰をもったクリスチャンなのかは皆違います。出身教会や教会遍歴、信仰のあかしについて尋ねたときに、曖昧であったり、答えたがらなかったり、嘘があるときには注意が必要です。はじめて聞く教会名に関しては、確認が必要です。所属する教会は健全でも、「タラップン」など問題のあるムーブメントに関わっている場合もあるので複雑です。

## 信頼できるサイトの確認、専門家への相談

まずは信頼できるサイトで、問題のある団体名を確認してみてください。「異端カルト110番」サイトの画面上部にある「ニュース・一覧」で「ニュース」をクリックすると、カテゴリーとして問題のある団体名リストが見られます。<https://cult110.info/category/news/> )ご自分で判断しかねるときには、異端カルト相談室にもご相談ください。

## 教会全体の理解

教会員は、健全な信仰、教会生活を送ることがもっとも大切です。それに加えて、異端カルト問題が教会や社会にとって深刻な問題であり、程度の差はあっても皆が心に留めるべきであるという理解も大切です。ウィルスが変異するように、異端カルトも変化し続けています。定期的に異端カルトセミナーに参加したり、上記サイト「異端カルト110番」の記事をご覧になるなど、異端カルト情報のアップデートが必要となります。

異端カルト相談室では、相談と共に皆さんからの情報も集めております。身近で出会ったささいなことでも結構ですので、情報をお寄せください。

「また偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。・・・しかし最後まで耐え忍ぶ人は救われます」(マタイ24:11、13)